

ものごと(学問・道)をまずは「知る」こと、次に「好きになる」こと、
そして「楽しむ」ことをしよう

開倫塾

塾長 林明夫

Q 1 : ものごと(学問・道)を「知る」「好きになる」「楽しむ」、なかなかおもしろそうですね。

A : (1)実は、このことばは、孔子の教えを弟子たちが 499 の章にまとめた「論語」にある教えです。

(2)「子(し)曰(い)わく、之(こ)れを知る者は、之れを好む者に如(し)かず。之れを好む者は、之れを楽しむ者に如かず」

<通釈>孔子が言った。ある物事(学問・道)について、それを単に知っている者は、それを好む者には及ばない。しかし、それを好む者だって、その物事について楽しむ者には及ばないのだ。

*須永美知夫著「論語抄」史跡足利学校発行より引用。

(3)「之れ」には物事、つまり学問・勉強だけでなく、すべてのことがらがあてはまると考えます。

Q 2 : スポーツや芸術活動、生徒会活動なども入るのですか。

A : (1)その通りだと思います。例えば、サッカーの練習をやっていると、サッカーのことがだんだんわかってきます。ルールや練習の方法、いろいろな技術を知れば知るほど、サッカーが好きになる。好きになればなるほど、サッカーをすることが楽しくなるのではないのでしょうか。

(2)例えば、吹奏楽部に入って、クラリネットの演奏の仕方を知り、少しずつうまく吹けるようになると、クラリネットが好きになる。そして、クラリネットに慣れ親しめば親しむほど、クラリネットを演奏することが楽しくなる。音楽が楽しくなる。このようなこともあると思います。

(3)勉強も同じかもしれません。初めはわからなくて大変だった数学や英語も、その内容を少しずつ知り、どのようなことなのかがわかってきて、よく「理解」できるようになると、好きになることがあります。

数学の問題が解けたり、思っていることを英語で話せたり書けたりすると、数学や英語がだんだん好きになります。書いてある英語の意味がわかり、聞き取りができると、英語が好きになることがあります。最後には、数学や英語を学ぶことが楽しくなることもあります。

Q 3 : 同じように、受験勉強にも「知る」「好きになる」「楽しむ」があてはまりますか。

A : 受験勉強でも、その「大切さ(価値)」や自分にとっての「意味」がわかってくると、学問・勉強を「知る」「好きになる」「楽しむ」ことの「きっかけ」になるかもしれません。

Q 4 : では、お聞きします。受験勉強の「大切さ(価値)」、「意味」とは何ですか。

A : (1) 受験勉強とは、「第1志望校」に合格できるだけの力を身に着けることです。「第1志望校」に合格するためには、出題される全教科の内容について、まずはよく「知る」こと、「理解」すること。次に、その内容を正確に「身に着けること」。そして、入学試験で合格点を取ることが求められます。

(2) 出題される全教科の内容は、「第1志望校」での勉強にすべて役に立つ大切な「価値」のあるものばかりです。自分のものにしてから「第1志望校」に進学するのだと、しっかり「意味付け」を行ってくださいね。

(3) 勉強をしっかりすればするほど、受験全教科の内容をよく「知る」ことになり、知れば知るほど、学べば学ぶほど、勉強が「好きになる」と私は思います。

Q : 最後に一言どうぞ。

A : 中学校・高校での勉強を一生続けると、人生が充実し、「楽しくなる」といえます。ですから、学校の教科書や教材、辞書などは決して処分しないことを、最後をお願いします。

2019年3月8日(金)